

大地震・大津波が発生した時のタイムライン

大地震・大津波が発生した場合、まずは揺れが収まるまで身の安全を確保します。避難情報が発令されたら、避難場所や高台へ避難し、津波警報等の解除後、避難所へ移動します。

避難所の運営は、町職員を派遣し、町民の皆さんと協力して行うものですが、町職員も災害発生直後は自身の身の安全確保を優先します。また、地震・津波により、道路ががれき等で封鎖され、すぐに避難所へ駆け付けることが困難な場合があるため、ここでは、災害発生後から避難所に町職員が来るまでの間、町民の皆さんに取っていただく行動の一例をタイムラインにしました。

！ 地震発生

揺れを感じたら、テーブルなどの下で身の安全を確保する(机がない場合は座布団などで頭を保護する)

！ 揺れが収まったら(地震発生から約1～2分後)

- ▷火元の確認や家族の安全を確保する
- ▷テレビやラジオをつけて情報を集める

！ 避難場所へ避難(地震発生から約3～5分後)

- ▷避難する際は、隣近所に声を掛けながら避難する
- ▷自力で避難することが困難な人がいたら、サポートし、一緒に避難する
- ▷避難場所で身の安全を確保する(地震発生から約10～30分後)
- ▷ラジオや携帯電話などで情報収集し、警報が解除されるまで、避難場所で安全を確保する
- ▷一部の避難場所は、町で整備した備蓄倉庫(毛布・ランタンなど)があるので、必要な物を取り出し、活用する
- ▷大規模災害時は避難場所へ町職員が駆け付けることができない場合があるため、避難者同士で助け合い、協力し合う

！ 避難所へ移動(地震発生から半日～1日経過後)

- ▷津波警報等の解除後、最寄りの避難所へ移動する(避難場所の備蓄倉庫からランタンなどを持って行く)
- ▷電気・水道・ガスが使用できるか確認する
- ▷不足している物資について、避難者同士で話し合い、まとめておく
- ▷避難者同士で声を掛け合い、助け合う

！ 避難所に町職員が到着(地震発生から1日～3日経過後)

- ▷避難所の状況、不足している物資、避難者の健康状態などを町職員へ伝える
- ▷町職員等と協力し、避難所運営にあたる

▼湖南地区防災広場の備蓄倉庫



非常用持ち出し袋の点検をしませんか

非常用持ち出し袋を用意するのも『自助』の一つです。持ち出し可能な袋に食料やラジオ、懐中電灯などを準備していると非常時に慌てないで避難行動がとれます。この機会に中身の確認をしてください。

非常食は1年から5年、非常飲料は3年から10年の消費期限が各商品によって設定されています。ラジオや懐中電灯などに電池を入れたままにしておくと、電池切れや液もれで使えなくなっていることがあります。

また、感染症の感染拡大防止のため、避難所へ避難する際には、マスクやアルコール消毒液などを持参することが推奨されています。

もしもの時に必要な物だからこそ、避難訓練のたびに、家庭にある非常用持ち出し袋の中を確認しましょう。



チェックしよう!

✓ 非常用持ち出し袋の一例

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 缶切り | <input type="checkbox"/> 飲料水 |
| <input type="checkbox"/> 預金通帳 | <input type="checkbox"/> ライター・マッチ | <input type="checkbox"/> 下着 |
| <input type="checkbox"/> 印鑑 | <input type="checkbox"/> ナイフ | <input type="checkbox"/> 靴下 |
| <input type="checkbox"/> 保険証 | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ | <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン |
| <input type="checkbox"/> 免許証 | <input type="checkbox"/> 救急箱 | <input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット・雨具 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 処方箋の控え | <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 胃腸薬・便秘薬・持病の薬 | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 乾パン | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 防災ずきん | <input type="checkbox"/> 缶詰 | |
| <input type="checkbox"/> 厚手の手袋 | <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 | |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート | |



津波シミュレーション動画をご覧ください

危機対策室では、津波から命を守る方法を正しく身につけてもらうため、防災啓発動画を作成し、町ホームページで公開しています。

この動画では、津波で最悪の事態が発生した場合を想定し、コンピューターグラフィックス(CG)の技術を用いて町に津波が襲来した際にどのような状況になるかがわかる動画になっています。

URL : <https://www.akkeshi-town.jp/bousai/movie/>

町ホームページはこちら



災害の まめちしき

新聞紙や段ボールの活用方法

新聞紙は、体に巻くと保温効果があります。

段ボールは簡易的な椅子になったり、さまざまな用途で活用できます。